

保健管理報告

第 19 号

2018（平成 30）～2019（平成 31・令和 1）年度

神戸親和女子大学

保健室・学生相談室

ごあいさつ

保健管理報告第 19 号を発刊するに当たり関係各位に深く御礼申し上げます。また、平素より保健室、学生相談室、学校医の先生方には学生の充実した学生生活や、教職員の職務遂行がなされるよう尽力いただき、まことに感謝いたします。

さて、現在新型コロナウイルスが世界中の国々に多方面において深刻なダメージを与えています。それは現在でも継続しており、夏の終わりをむかえた今でもなお終息の糸口を明確に見出すことができていないのが現状です。この間、兵庫県下でも緊急事態宣言が約二か月にわたり発令され、短期間のうちに日々の暮らしが一変しました。本学においては危機管理委員会のもと、春学期の遠隔授業の実施を決断せざるを得ず、これにともなって課外活動、海外研修といった学生の多様な学びの機会が奪われることとなりました。ウィルスの脅威に直面することによって、現代に生きる私たちが同時に健康への向き合い方をこれほど考えさせられた機会はなかったのではないのでしょうか。このウィルスに長期的に向き合う必要が生じてきた今、健康を維持していくために私たちの行動の再考が求められています。現に、厚生労働省からは「新しい生活様式」の検討がなされ、その実践例も公開されています。ここに示されている事項の多くは私たちが普段から何気なく行っていること、行おうと思えば困難なく行えるものであると解釈することもできると思います。しかし、感染を完全に防止できない現状はワクチンの有無や高度な医療機器の整備等の問題だけではなく、これらの事項を徹底して実践することが大変難しいものであることを裏付けているとも言えます。実際、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の提言でも「『徹底した行動変容の要請』が必要となる」とあります。この考え方には多様な捉え方があるでしょうが、少なくとも飛沫感染や接触感染によって感染が生じることが明らかになっている以上、これらを念頭に置いた行動について考えなければなりません。このことから、人々の社会活動全般における日々の習慣の変容が求められるということです。他方、私たち一人一人がこれらの事項を常に心がけて継続して実践すること、同時に実践することの難しさを感じている方も多いのではないのでしょうか。

以上をまとめますと、健康を維持することは習慣的な行動とも深く関係すること、そしてそれを維持することは実はそれほど容易ではないということです。本学においても、日々の生活を見直し、感染防止のための配慮を皆が協同して行うことが求められているといえるでしょう。そして、今回のウィルスの問題だけではなく健康を維持するために、最新の情報へのアップデートと適切な行動選択ができるよう、健康への理解をお願いし、ごあいさつに代えさせていただきます。

2020年 初秋
学生担当部長 杉山 真人

目 次

ごあいさつ

I	学生健康診断の実施について	1
II	学生定期健康診断受診状況及び結果	2
	1. 定期健康診断学年・学科別受診状況	
	2. 内科診察結果	
	3. 胸部X線撮影結果	
	4. 心電図検査結果	
	5. 最高血圧数値別人数	
	6. 身長平均値	
	7. 体重平均値	
	8. 各項目要所見者・精密者数	
	9. 総合判定	
III	学生健康調査項目別統計	8
IV	教職員定期健康診断	10
	1. 受診状況	
	2. 受診者年齢構成	
	3. 総合判定区分	
	4. 検診所見	
V	ストレスチェック	16
VI	保健室利用状況	17
	1. 主訴別	
	2. 学年別	
	3. 学科別	
VII	健康診断証明書	19
VIII	学生相談室	20
	1. 学生相談室活動報告	
	2. 学生相談室の利用状況について	
	3. 考察および今後の課題	

I 学生健康診断の実施について

本学では、毎年年度初めに学校保健安全法に従って全学生の定期健康診断を実施しています。兵庫県健康財団に委託して、内科診察、胸部レントゲン、心電図はもちろん、健診スタッフは全員女性により行われることを要請し、可能な限り実施していただいています。

受検項目は表1のとおりで、心電図は1年次、院生1年は全員、他の学年は前年度の結果や診察結果などで必要と思われる者に行っています。また、問診は健康調査表（P.8 参照）に沿って看護師や保健師が丁寧に聞き取りを行い、内科診察や保健指導に役立てています。

受診率は約99%で、未受検者に対しては診断書の提出を促しています。精密検査や治療を必要と判断する学生には精密検査依頼書を発行しています。

健康診断受検項目（○は受検を必要とするもの）

表 1

	身長	体重	胸部 X線	内科 診察	血圧	尿検査	視力	聴力	心電図	健康 調査
1年次	○	○	○	○	○	○			○	○
2年次	○	○	○	○	○	○			有所見者	○
3年次	○	○	○	○	○	○			有所見者	○
4年次	○	○	○	○	○	○	○	○	有所見者	○
院 M1	○	○	○	○	○	○			○	○
院 M2	○	○	○	○	○	○	○	○	有所見者	○

II 学生定期健康診断受診状況及び結果

1. 定期健康診断学年・学科別受診状況

学年	学科	年度	児童教育	総合文化	心理	福祉臨床	ジュニアスポーツ教育	全学科
1年次	対象数	2018	215	52	50	21	79	417
		2019	208	56	47		62	373
	実施数	2018	215	51	50	21	79	416
		2019	207	56	47		62	372
	未受検者数	2018	0	1	0	0	0	1
		2019	1	0	0		0	1
	受診率(%)	2018	100	98	100	100	100	100
		2019	100	100	100		100	100
2年次	対象数	2018	263	54	45	28	83	473
		2019	214	50	49	21	77	411
	実施数	2018	263	50	45	28	83	469
		2019	214	48	48	21	77	408
	未受検者数	2018	0	4	0	0	0	4
		2019	0	2	1	0	0	3
	受診率(%)	2018	100.0	92.6	100.0	100.0	100.0	99.2
		2019	100.0	96.0	98.0	100.0	100.0	99.3
3年次	対象数	2018	229	46	43	25	63	406
		2019	261	57	47	32	81	478
	実施数	2018	228	45	41	25	62	401
		2019	260	57	47	32	81	477
	未受検者数	2018	4	1	1	2		1
		2019	1	0	0	0	0	1
	受診率(%)	2018	99.2	99.6	97.8	95.3	100.0	98.4
		2019	99.6	100.0	100.0	100.0	100.0	99.8
4年次	対象数	2018	242	42	56	36	76	452
		2019	232	52	44	25	64	417
	実施数	2018	240	40	56	36	75	447
		2019	231	52	44	25	62	414
	未受検者数	2018	2	2	0	0	1	5
		2019	1	0	0	0	2	3
	受診率(%)	2018	99.2	95.2	100.0	100.0	99	98.9
		2019	99.6	100.0	100.0	100.0	96.9	99.3
全学年	対象数	2018	949	194	194	110	301	1,748
		2019	915	215	187	78	284	1,679
	実施数	2018	946	186	192	110	299	1,733
		2019	912	213	186	78	282	1,671
	未受検者数	2018	6	8	1	2	1	11
		2019	3	2	1	0	2	8
	受診率(%)	2018	99.6	96.4	99.5	98.8	99.7	99.1
		2019	99.7	99.0	99.5	100.0	99.2	99.5

※2019年度より福祉臨床学科 新規募集は終了

学年		年度	院生全体
院生(M1)	対象数	2018	10
		2019	19
	実施数	2018	10
		2019	19
	未受検者数	2018	0
2019		0	
受診率(%)	2018	100.0	
	2019	100.0	
院生(M2)	対象数	2018	23
		2019	29
	実施数	2018	17
		2019	27
	未受検者数	2018	6
2019		2	
受診率(%)	2018	73.9	
	2019	93.1	

学年		年度	院生全体
科目等履修	対象数	2018	10
		2019	3
	実施数	2018	10
		2019	3
	未受検者数	2018	0
		2019	0
	受診率(%)	2018	100.0
		2019	100.0

2. 内科診察結果

所見	年度	
	2018	2019
甲状腺腫	50	39
皮膚病変	1	0
貧血症状	48	26
機能性収縮期雑音	12	10
器質性収縮期雑音	17	12
不整脈	6	12
自覚症状強い	3	0
その他	8	2
呼吸音異常	1	0
甲状腺機能亢進	3	4
甲状腺機能低下	0	0
耳鼻疾患・疑	0	0
甲状腺疾患・疑	0	1
整形外科疾患・疑	0	1
眼科疾患・疑	1	0
神経症状	1	0
浮腫	1	0
合計	152	107

3. 胸部 X 線撮影結果

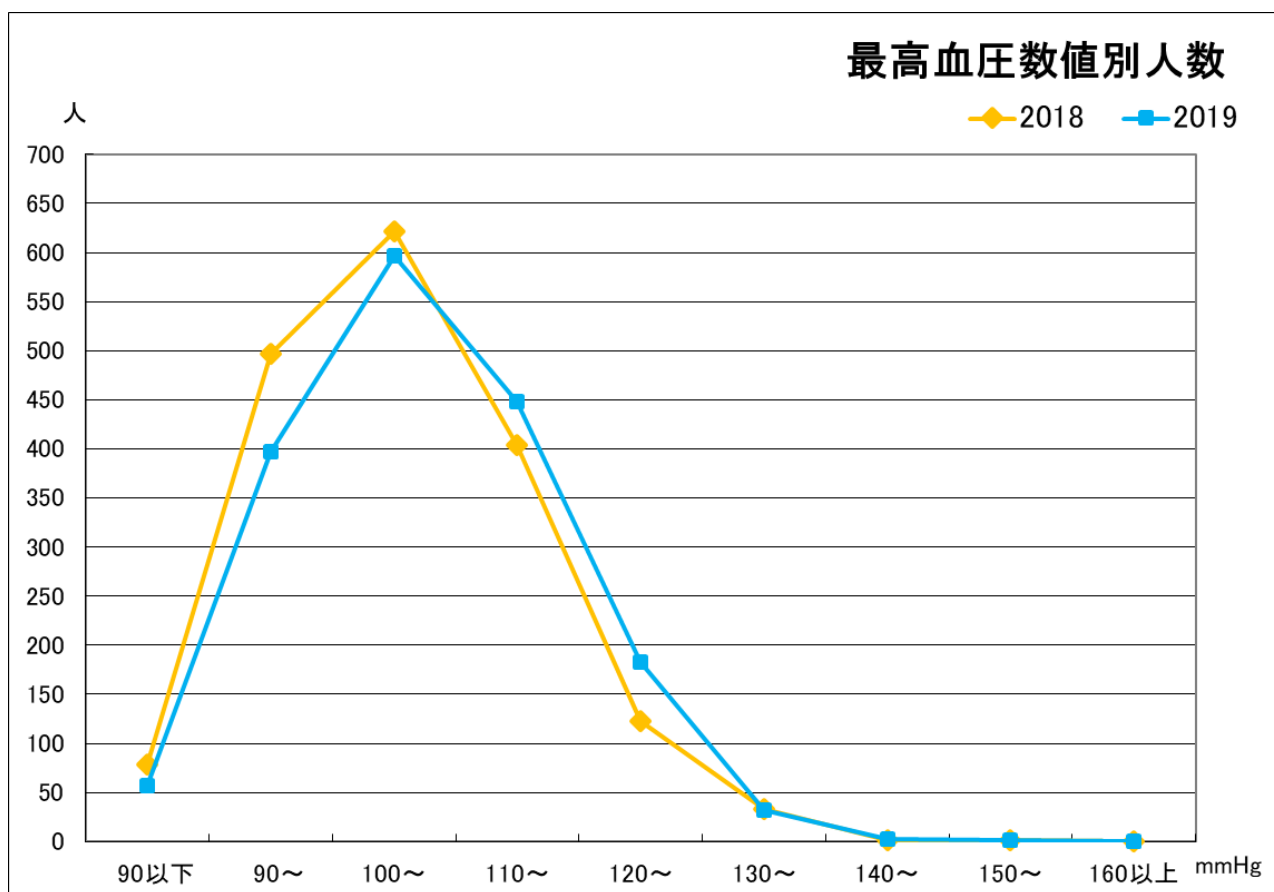
所見	年度	
	2018	2019
肺のう胞・ブラ	1	2
頸部異常	0	0
脊柱側彎症	47	36
石灰化影	1	0
治癒陰影	1	2
胸膜癒着	0	1
肺門影腫大	0	0
胸膜肥厚	0	1
右側大動脈弓	2	1
気管異常・偏位	0	0
肋骨骨折痕	0	0
心・縦隔術後	1	0
浸潤状影	0	1
気胸	0	1
異物	2	1
合計	55	46

4. 心電図検査結果

所見	年度	
	2018	2019
右軸偏位	5	7
左軸偏位	7	6
洞性不整脈	0	1
洞性徐脈	4	5
洞性頻脈	16	10
上室性期外収縮	4	2
1度房室ブロック	3	5
不完全右脚ブロック	5	3
完全右脚ブロック	0	2
心室性期外収縮	5	5
WPW症候群	2	2
肺性P	0	0
右室伝導遅延	1	0
ST低下・疑	1	0
心室性期外収縮頻発	1	1
低電位(四肢誘導)	0	1
QSパターン	0	1
T波異常	1	1
ST低下	3	0
R波増高不良・減高	1	1
合計	59	53

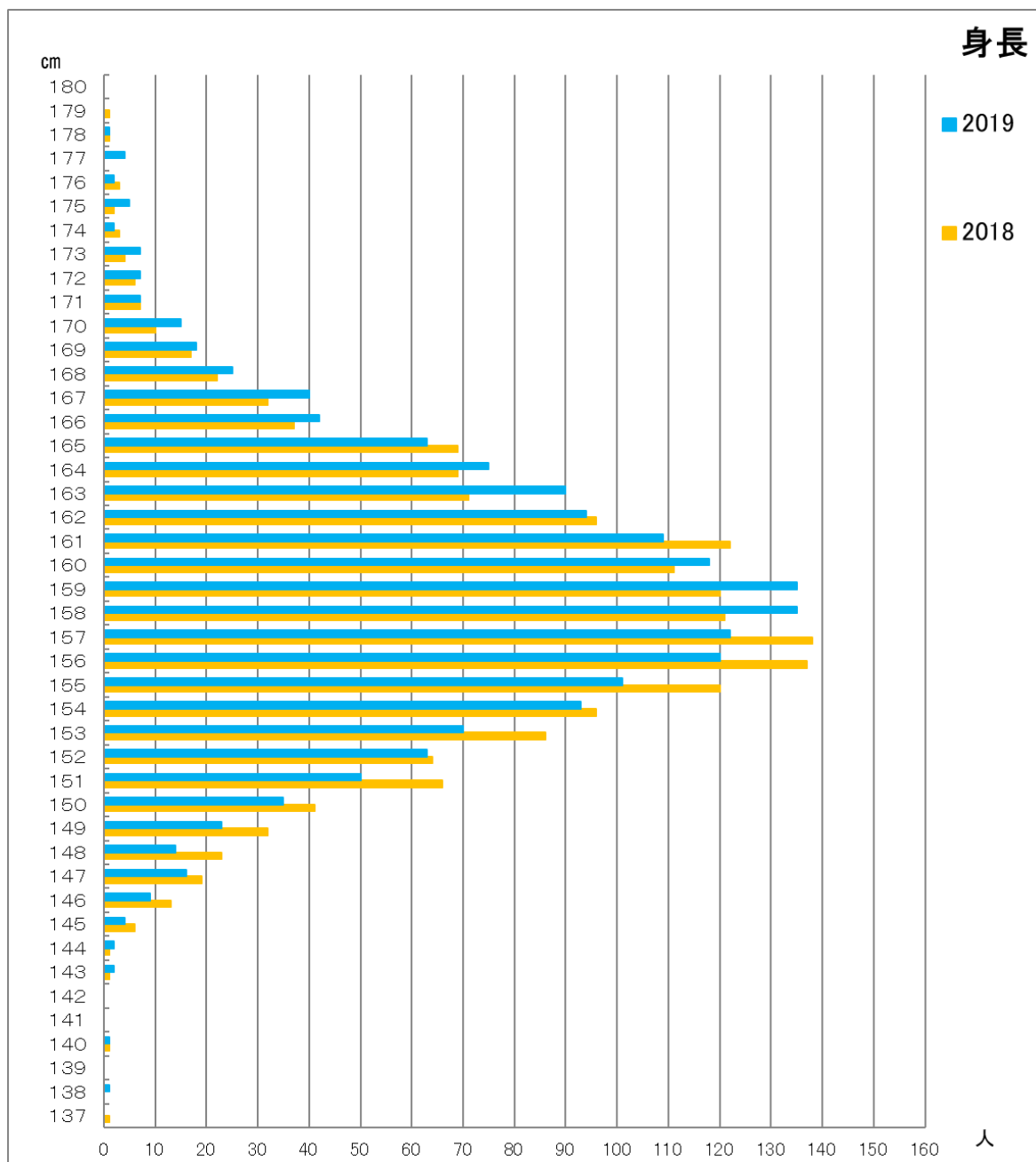
5. 最高血圧数值別人数

学年 年度	1年次		2年次		3年次		4年次		科目等履修		院生		合計	
	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019
160以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
150～	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
140～	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	2
130～	6	8	7	8	3	7	15	5	0	0	2	4	33	32
120～	21	49	41	44	21	39	36	47	1	0	4	4	123	183
110～	80	103	116	104	89	128	111	101	1	1	8	12	404	448
100～	129	133	162	128	169	175	159	150	5	1	3	11	622	597
90～	155	79	125	97	98	112	111	96	2	1	8	13	497	397
90以下	25	0	17	27	21	15	14	14	1	0	1	1	78	57
計	416	372	469	408	401	477	447	414	10	3	26	46	1759	1717



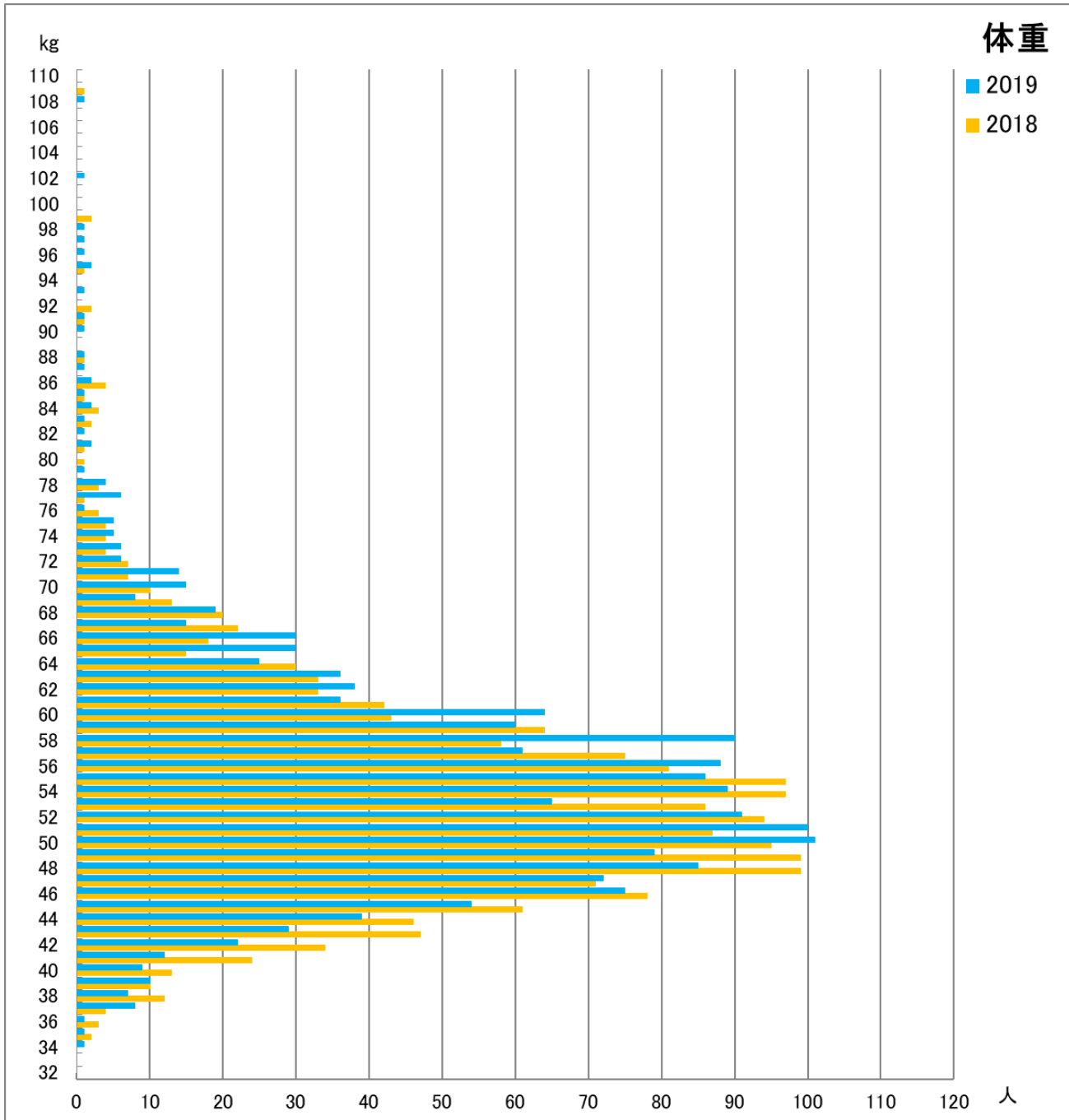
6.身長平均値

学年	1年次	2年次	3年次	4年次	院生	科目等履修生	平均
2018年度	158.2 cm	157.8 cm	157.9 cm	158.1 cm	160.1 cm	161.9 cm	157.1 cm
2019年度	158.2 cm	158.9 cm	158.7 cm	158.4 cm	162.2 cm	160.3 cm	158.6 cm



7. 体重平均值

学年	1年次	2年次	3年次	4年次	院生	科目等履修	平均
2018年度	53.6 kg	53.6 kg	53.0 kg	53.3 kg	57.4 kg	55.8 kg	53.5 kg
2019年度	54.2 kg	54.9 kg	54.1 kg	54.0 kg	58.1 kg	54.3 kg	54.6 kg



8. 項目別所見者、精密者数

学年 年度		1年次		2年次		3年次		4年次		院生		科目等履修		合計	
		2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019
胸部X線	有所見	6	13	12	19	29	10	8	4	0	3	0	0	55	49
	精密検査	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
内科診察	有所見	41	22	46	29	17	36	43	21	2	3	1	0	150	111
	精密検査	2	0	6	0	1	0	6	6	0	0	0	0	15	6
血压	有所見	8	0	17	3	7	1	20	3	4	2	1	0	57	9
	精密検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
検尿	有所見	24	20	38	28	20	13	20	19	0	2	0	0	102	82
	精密検査	6	10	10	11	10	9	7	8	0	0	0	0	33	38
聴力	有所見	検査対象外		検査対象外		検査対象外		3	8	1	0	検査対象外		4	8
	精密検査	検査対象外		検査対象外		検査対象外		3	8	1	0	検査対象外		4	8
心電図	有所見	13	25	16	8	7	10	10	10	3	3	0	1	49	57
	精密検査	0	0	1	1	2	0	1	1	0	0	0	0	4	2
計	有所見	74	114	101	116	68	94	89	108	10	24	2	1	417	316
	精密検査	5	11	9	12	4	9	11	14	1	1	0	0	56	57

9. 総合判定

	1年次		2年次		3年次		4年次		院生		科目等履修		合計	
	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019
異常なし	346	288	387	326	339	409	377	358	20	33	8	2	1469	1414
略正常	19	36	30	29	40	27	31	19	3	5	1	1	123	116
要観察	38	27	25	26	12	19	28	15	2	4	1	0	105	91
要注意	8	7	15	18	5	10	5	8	1	3	0	0	34	46
要精検	5	11	10	8	4	7	5	14	0	1	0	0	24	41
要医療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
継続加療	0	3	2	1	1	5	1	0	0	0	0	0	4	9
要再検	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	416	372	469	408	401	477	447	414	26	46	10	3	1759	1717

Ⅲ. 学生健康調査項目別統計

	項目	1年次		2年次		3年次		4年次		院生		科目等履修		合計		
		2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	
内科	1	1) 最近、痩せてきた	4	4	3	3	3	4	5	6	1	3	1	0	17	20
		2) 最近、食欲がない	1	6	4	1	3	1	4	1	0	1	0	0	12	10
		3) 最近、体がだるい	25	20	23	14	20	16	26	17	3	6	0	1	97	74
	2	1) 顔色が悪い	8	3	11	6	5	9	8	5	1	0	0	1	33	24
		2) 貧血があると言われた	33	31	28	28	25	26	21	22	1	4	0	0	108	111
	3	1) 下痢をよくする	24	24	24	16	22	21	28	24	1	2	0	0	99	87
		2) 便秘をよくする	52	68	65	45	42	58	51	41	2	5	0	0	212	217
		3) 便に血が混ざっていることがある	1	3	4	5	4	1	4	2	0	0	0	1	13	12
	4	1) 何時も、胃が重い	7	3	6	6	2	4	6	2	0	1	0	0	21	16
		2) 何時も、吐き気がある	4	3	2	2	9	5	6	5	1	2	1	1	23	18
		3) 何時も、嘔吐がある	0	0	0	0	1	1	0	3	0	0	0	0	1	4
	5	1) 胃がよく痛む、食後	9	11	6	4	13	7	3	9	1	1	0	0	32	32
		2) 胃がよく痛む、空腹時	4	16	4	4	9	4	8	9	1	4	0	1	26	38
		3) 胃がよく痛む、食事の時間とは無関係	9	15	13	14	8	12	12	11	1	1	0	1	43	54
	6	1) 扁桃腺がよく腫れる	16	14	15	15	14	21	20	11	3	3	0	1	68	65
		2) 咳や痰がよくでる	10	7	12	9	6	18	16	11	0	0	0	1	44	46
	7	検査でよく蛋白尿がでる	3	10	4	2	1	6	6	2	1	2	0	0	15	22
	8	1) 血圧が、高いと言われた	0	1	3	1	1	4	0	1	3	2	0	1	7	10
		2) 血圧が、低いと言われた	24	16	27	23	31	33	20	29	5	5	2	0	109	106
	9	1) 息切れがする	6	7	4	3	4	4	8	11	2	4	0	0	24	29
	2) 急に呼吸が苦しくなる	4	10	8	1	6	2	7	7	0	1	0	0	25	21	
10	1) 脈が不規則に打つ	5	6	4	4	4	5	3	7	0	1	0	0	16	23	
	2) 心雑音があると言われた	9	2	6	5	6	7	2	6	0	0	0	0	23	20	
11	1) 胸や心臓のまわりがよく痛む	16	15	15	14	15	10	6	14	1	2	0	0	53	55	
	2) 心臓が狂ったように早く打つことがある	2	2	2	1	0	0	0	1	0	1	0	1	4	6	
	3) よく動悸がする	5	2	6	1	5	6	2	6	1	3	0	0	19	18	
12	1) 肩がよくこる	72	85	94	62	95	98	115	103	10	12	2	1	388	361	
	2) 関節がよく痛む	13	3	11	9	4	10	16	5	0	2	0	0	44	29	
	3) 腰痛がある(生理に関係なく)	23	30	32	26	31	35	41	37	3	5	0	1	130	134	
13	1) 手や足がふるえる	7	9	6	3	3	3	7	5	0	1	0	0	23	21	
	2) 痙攣をおこす	4	3	6	0	0	5	1	0	0	0	0	0	11	8	
14	1) 暖かい時手や足が冷たい	20	33	22	23	21	20	39	21	2	5	0	1	104	103	
	2) 最近よく汗をかくようになった	6	5	4	1	3	5	5	3	2	2	0	0	20	16	
15	1) ひどい頭痛がある	26	27	32	23	27	28	30	30	2	4	0	0	117	112	
	2) めまいがする	19	19	20	18	12	17	20	11	2	3	0	0	73	68	
16	1) 近親者に、高血圧	28	33	36	26	34	40	66	43	5	8	1	2	170	152	
	2) 近親者に、糖尿病	37	39	44	36	36	44	76	47	4	6	0	0	197	172	
	3) 近親者に、喘息	21	19	25	21	16	24	31	17	1	1	0	0	94	82	
	4) 近親者に、腎臓病	2	0	4	4	2	5	3	2	0	1	0	0	11	12	
	5) 近親者に、癌	23	25	31	26	31	37	62	38	3	5	0	1	150	132	
	6) 近親者に、神経症	1	0	1	1	0	1	4	0	0	0	0	0	6	2	

アレルギー	17	アトピー性皮膚炎がある	35	43	46	34	35	42	33	33	2	0	0	0	151	152
	18	1) アレルギー体質	25	31	36	29	41	37	32	43	3	7	0	1	137	148
		2) 鼻炎	48	57	71	44	45	71	70	51	2	8	1	1	237	232
		3) 花粉症	116	124	120	127	99	120	111	123	2	3	0	0	448	497
		4) アレルギー性結膜炎	13	14	30	14	10	28	16	11	0	0	0	0	69	67
19	1) 喘息、小児喘息で今は発作がでない	19	24	21	17	15	21	21	14	0	1	0	0	76	77	
	2) 喘息、時々発作がでる	9	13	5	9	5	5	12	8	0	0	0	0	31	35	
20	1) 薬物アレルギー	7	5	3	4	2	6	8	2	1	1	0	0	21	18	
	2) 食物アレルギー	15	21	34	18	21	32	31	21	3	6	0	1	104	99	
意識障害	21	1) 気分が悪くなって倒れた(生理と関係なく)	8	14	7	5	3	4	4	3	0	2	0	0	22	28
		2) 目の前が暗くなって倒れた	15	25	5	8	6	3	3	6	0	0	0	0	29	42
	22	全く覚えがなく気がついたら倒れていた	6	5	3	2	1	1	1	0	0	0	0	0	11	8
	23	てんかん	2	2	0	1	1	2	0	2	0	0	0	0	3	7
24	その他	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
その他	25	1) 生理痛がひどく、薬を毎回のよう飲む	72	72	82	58	70	95	80	76	3	3	0	0	307	304
		2) 生理痛がひどく、ひどい貧血をおこす	8	5	9	7	5	10	7	3	0	2	0	0	29	27
		3) 生理不順である	0	56	0	39	0	44	0	34	0	4	0	0	0	177
	26	1) 耳が聞こえにくい、右	3	0	3	1	3	3	2	3	0	0	0	0	11	7
		2) 耳が聞こえにくい、左	4	1	6	2	2	5	3	3	0	0	0	0	15	11
		3) 耳が聞こえにくい、両方	8	4	8	6	2	9	9	3	0	1	0	0	27	23
	27	言語障害がある	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	28	運動や機能に障害があり正しい動作や運動ができない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	1) 常用している薬がある、鎮痛剤	12	35	15	19	14	18	19	26	0	3	0	0	60	101	
	2) 常用している薬がある、睡眠薬	2	0	2	0	0	3	0	2	0	0	0	0	4	5	
	3) 常用している薬がある、漢方薬	5	0	0	4	2	2	1	4	1	1	0	0	9	11	
	4) 常用している薬がある、医師の投薬	19	64	55	29	44	57	46	61	4	3	0	1	168	215	
30	1) 偏食、肉類	19	28	14	9	0	12	4	3	1	9	2	1	40	62	
	2) 偏食、魚介類	6	7	4	4	6	5	9	10	1	2	0	0	26	28	
	3) 偏食、野菜類	5	10	2	7	3	5	11	3	1	5	1	0	23	30	
	4) 偏食、海藻類	0	1	0	1	1	0	2	1	0	1	0	1	3	5	
31	1) 食事は、朝食をとらないことがある	61	66	76	76	69	103	86	80	6	16	3	1	301	342	
	2) 食事は、大体規則正しくとる	303	260	330	275	293	317	286	290	8	21	5	1	1225	1164	
	3) 食事は、不規則になりがち	43	44	57	60	38	50	68	42	6	10	2	1	214	207	
32	1) 1日に、タバコ	2	0	0	0	1	2	6	1	1	1	0	0	10	4	
	2) 1日に、コーヒー	18	22	30	14	8	27	42	15	7	8	0	0	105	86	
	3) 1日に、酒またはビール	1	0	0	0	0	1	4	0	1	2	0	0	6	3	
33	1) 神経質である	28	33	27	18	20	33	32	24	2	3	0	0	109	111	
	2) 人と話をするを好まない	14	12	8	12	10	7	9	8	2	5	0	0	43	44	
34	1) 積極的な方	128	120	135	91	126	141	124	129	6	19	7	2	526	502	
	2) 消極的な方	98	106	84	68	83	81	87	82	1	5	0	0	353	342	
35	1) 物事に集中できない	21	24	26	14	12	24	16	15	1	2	1	1	77	80	
	2) いらいらする	19	27	14	14	14	12	23	14	2	3	0	0	72	70	
	3) 気力がでない	26	22	18	18	14	17	20	14	1	4	0	0	79	75	
36	1) 毎日の日課が楽しい	103	104	132	91	114	123	128	114	9	17	5	1	491	450	
	2) 憂鬱な日が多い	32	25	23	26	28	22	29	23	4	2	0	0	116	98	
	3) 不安である	61	46	27	18	15	28	23	24	2	3	0	0	128	119	
37	1) 睡眠時間、5時間以下	70	62	107	70	80	101	93	79	2	5	0	0	352	317	
	2) 睡眠時間、6時間	251	229	257	244	231	256	246	238	11	21	0	0	996	988	
	3) 睡眠時間、7時間	84	72	91	80	78	106	85	85	10	17	8	3	356	363	
	4) 睡眠時間、8時間以上	9	8	13	16	12	13	22	12	1	3	2	0	59	52	

IV 教職員定期健康診断

教職員の定期健康診断は、常に健康で働けることを目的とし、年1回学校保健安全法および労働安全衛生規則に基づき2月から3月にかけて実施しています。

兵庫県健康財団保健検診センターに委託しており、事前に受診希望日を募ったのち、検診センターと調整して受診します。また、人間ドックの結果を振り替えることも可能としています。

検診結果については、委託業者の様式を活用し各個人に配布、健康の保持増進に努めています。

1. 受診状況

(2018年度)

	教員	職員	全体
対象数	98	78	176
受検者数	96	78	174
未受検者数	2	0	2
受検者率(%)	98.0	100	98.9

(2019年度)

	教員	職員	全体
対象数	100	98	198
受検者数	99	98	197
未受検者数	1	0	1
受検者率(%)	99.0	100	99.5

2. 受診者の年齢構成

(2018年度)

	教員	職員	総計
20～29歳	15	11	26
30～39歳	13	22	35
40～49歳	15	19	34
50～59歳	15	18	33
60歳以上	38	8	46
総計	96	78	174

(2019年度)

	教員	職員	総計
20～29歳	13	16	29
30～39歳	15	20	35
40～49歳	14	22	36
50～59歳	14	31	45
60歳以上	43	9	52
総計	99	98	197

3. 総合判定区分

《2018年度教職員の健康診断結果》

法定項目	判定結果一覧(2018年度)										判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率(%)
	異常なし A判定	軽度異常 B判定	要観察 C判定	要注意 D判定	要精検 E判定	要治療 F判定	継続加療 G判定	要再検 H判定	未受診				
教職員全体	38	27	38	20	48	2	1	0	0	0	174	109	62.6
総合判定	160	1	6	1	1	0	1	0	0	4	170	9	5.3
内科診察	166	3	3	0	0	0	0	0	0	2	172	3	1.7
聴力1KHz	116	50	6	0	0	0	0	0	0	2	172	6	3.5
聴力4KHz	150	18	0	0	1	0	1	0	0	4	170	2	1.2
胸部X線	128	27	8	4	6	0	1	0	0	0	174	19	10.9
血圧	139	18	10	2	4	0	0	0	0	1	173	16	9.2
貧血	133	14	8	2	16	0	0	0	0	1	173	26	15.0
肝機能	81	32	26	17	17	0	0	0	0	1	173	60	34.7
血中脂質	134	24	7	1	3	1	0	0	0	4	170	12	7.1
血糖	166	2	0	0	3	0	0	0	0	3	171	3	1.8
尿糖	162	5	0	3	1	0	2	0	0	1	173	6	3.5
尿蛋白	95	0	13	1	8	0	3	0	0	54	120	25	20.8
心電図													

教員	判定結果一覧(2018年度)										判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率(%)
	異常なし A判定	軽度異常 B判定	要観察 C判定	要注意 D判定	要精検 E判定	要治療 F判定	継続加療 G判定	要再検 H判定	未受診				
教員	20	14	23	14	24	1	0	0	0	0	96	62	64.6
総合判定	90	0	1	0	1	0	0	0	0	4	92	2	2.2
内科診察	90	3	2	0	0	0	0	0	0	1	95	2	2.1
聴力1KHz	91	0	4	0	0	0	0	0	0	1	95	4	4.2
聴力4KHz	82	10	0	0	0	0	0	0	0	4	92	0	0.0
胸部X線	68	15	8	0	5	0	0	0	0	0	96	13	13.5
血圧	77	12	4	2	0	0	0	0	0	1	95	6	6.3
貧血	70	10	4	0	11	0	0	0	0	1	95	15	15.8
肝機能	41	16	18	11	9	0	0	0	0	1	95	38	40.0
血中脂質	70	15	7	0	2	0	0	0	0	2	94	9	9.6
血糖	93	0	0	0	2	0	0	0	0	1	95	2	2.1
尿糖	90	2	0	2	1	0	0	0	0	1	95	3	3.2
尿蛋白	59	0	5	1	2	0	1	0	0	28	68	9	13.2
心電図													

職員	判定結果一覧(2018年度)										判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率(%)
	異常なし A判定	軽度異常 B判定	要観察 C判定	要注意 D判定	要精検 E判定	要治療 F判定	継続加療 G判定	要再検 H判定	未受診				
職員	18	13	15	6	24	1	1	0	0	0	78	47	60.3
総合判定	70	1	5	1	0	0	1	0	0	0	78	7	9.0
内科診察	76	0	1	0	0	0	0	0	0	1	77	1	1.3
聴力1KHz	25	50	2	0	0	0	0	0	0	1	77	2	2.6
聴力4KHz	68	8	0	0	1	0	1	0	0	0	78	2	2.6
胸部X線	60	12	0	4	1	0	1	0	0	0	78	6	7.7
血圧	62	6	6	0	4	0	0	0	0	0	78	10	12.8
貧血	63	4	4	2	5	0	0	0	0	0	78	11	14.1
肝機能	40	16	8	6	8	0	0	0	0	0	78	22	28.2
血中脂質	64	9	0	1	1	1	0	0	0	2	76	3	3.9
血糖	73	2	0	0	1	0	0	0	0	2	76	1	1.3
尿糖	72	3	0	1	0	0	2	0	0	0	78	3	3.8
尿蛋白	36	0	8	0	0	0	2	0	0	26	46	10	21.7
心電図													

法定外項目 判定結果一覽(2018年度)

教職員全体	異常なし	軽度異常	要観察	要注意	要精検	要治療	継続加療	要再検	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率(%)
	A判定	B判定	C判定	D判定	E判定	F判定	G判定	H判定				
脂質代謝	58	34	28	17	23	7	6	0	1	173	81	46.8
糖代謝	130	22	15	2	1	1	3	0	0	174	22	12.6
貧血・血球	129	16	14	3	8	0	3	0	1	173	28	16.2
尿酸	142	5	5	4	3	0	1	0	14	160	13	8.1
胃部X線	36	24	6	1	1	1	0	0	105	69	9	13.0
便潜血	84	0	0	0	7	0	0	0	83	91	7	7.7
腎機能	139	17	8	4	4	0	2	0	0	174	18	10.3

教員	異常なし	軽度異常	要観察	要注意	要精検	要治療	継続加療	要再検	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率(%)
	A判定	B判定	C判定	D判定	E判定	F判定	G判定	H判定				
脂質代謝	30	14	21	10	14	1	5	0	1	95	51	53.7
糖代謝	68	13	13	0	0	0	2	0	0	96	15	15.6
貧血・血球	70	10	9	2	2	0	2	0	1	95	15	15.8
尿酸	78	4	2	3	2	0	1	0	6	90	8	8.9
胃部X線	26	11	5	1	1	0	0	0	52	44	7	15.9
便潜血	53	0	0	0	4	0	0	0	39	57	4	7.0
腎機能	76	8	5	3	3	0	1	0	0	96	12	12.5

職員	異常なし	軽度異常	要観察	要注意	要精検	要治療	継続加療	要再検	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率(%)
	A判定	B判定	C判定	D判定	E判定	F判定	G判定	H判定				
脂質代謝	28	20	7	7	9	6	1	0	0	78	30	38.5
糖代謝	62	9	2	2	1	1	1	0	0	78	7	9.0
貧血・血球	59	6	5	1	6	0	1	0	0	78	13	16.7
尿酸	64	1	3	1	1	0	0	0	8	70	5	7.1
胃部X線	10	13	1	0	0	1	0	0	53	25	2	8.0
便潜血	31	0	0	0	3	0	0	0	44	34	3	8.8
腎機能	63	9	3	1	1	0	1	0	0	78	6	7.7

<<2019年度 教職員の健康診断結果>>

法定項目 判定結果一覧(2019年度)													
教職員全体	異常なし A判定	軽度異常 B判定	要観察 C判定	要注意 D判定	要精検 E判定	要治療 F判定	継続加療 G判定	要再検 H判定	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率	
総合判定	44	40	59	13	34	0	7	0	0	197	113	57.4	
内科診察	193	1	1	0	0	0	2	0	0	197	3	1.5	
聴力1KHz	190	0	4	0	0	0	0	0	3	194	4	2.1	
聴力4KHz	185	0	8	0	1	0	0	0	3	194	9	4.6	
胸部X線	169	20	3	0	0	0	1	1	3	193	4	2.1	
血圧	147	23	2	10	6	0	9	0	0	197	27	13.7	
貧血	162	16	11	0	8	0	0	0	0	197	19	9.6	
肝機能	150	25	8	0	12	0	1	0	1	196	21	10.7	
血中脂質	94	44	27	11	12	1	6	0	2	195	57	29.2	
血糖	158	22	9	0	4	0	3	0	1	196	16	8.2	
尿糖	194	0	0	1	0	0	1	0	1	196	2	1.0	
尿蛋白	176	17	0	3	0	0	0	0	1	196	3	1.5	
心電図	116	10	19	0	1	0	1	0	25	147	21	14.3	

教員	異常なし A判定	軽度異常 B判定	要観察 C判定	要注意 D判定	要精検 E判定	要治療 F判定	継続加療 G判定	要再検 H判定	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率
総合判定	19	21	29	6	20	0	4	0	0	99	59	59.6
内科診察	97	0	1	0	0	0	1	0	0	99	2	2.0
聴力1KHz	95	0	3	0	0	0	0	0	1	98	3	3.1
聴力4KHz	92	0	5	0	1	0	0	0	1	98	6	6.1
胸部X線	85	11	1	0	0	0	1	0	1	98	2	2.0
血圧	73	11	1	4	4	0	6	0	0	99	15	15.2
貧血	81	12	4	0	2	0	0	0	0	99	6	6.1
肝機能	71	16	5	0	6	0	1	0	0	99	12	12.1
血中脂質	39	22	19	6	6	0	6	0	1	98	37	37.8
血糖	74	13	8	0	2	0	2	0	0	99	12	12.1
尿糖	97	0	0	1	0	0	0	0	1	98	1	1.0
尿蛋白	86	11	0	1	0	0	0	0	1	98	1	1.0
心電図	63	4	6	0	1	0	1	0	24	75	8	10.7

職員	異常なし A判定	軽度異常 B判定	要観察 C判定	要注意 D判定	要精検 E判定	要治療 F判定	継続加療 G判定	要再検 H判定	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率
総合判定	25	19	30	7	14	0	3	0	0	98	54	55.1
内科診察	96	1	0	0	0	0	1	0	0	98	1	1.0
聴力1KHz	95	0	1	0	0	0	0	0	2	96	1	1.0
聴力4KHz	93	0	3	0	0	0	0	0	2	96	3	3.1
胸部X線	84	9	2	0	0	0	0	1	2	95	2	2.1
血圧	74	12	1	6	2	0	3	0	0	98	12	12.2
貧血	81	4	7	0	6	0	0	0	0	98	13	13.3
肝機能	79	9	3	0	6	0	0	0	1	97	9	9.3
血中脂質	55	22	8	5	6	1	0	0	1	97	20	20.6
血糖	84	9	1	0	2	0	1	0	1	97	4	4.1
尿糖	97	0	0	0	0	0	1	0	0	98	1	1.0
尿蛋白	90	6	0	2	0	0	0	0	0	98	2	2.0
心電図	53	6	13	0	0	0	0	0	1	72	13	18.1

法定外項目 判定結果一覧(2019年度)

教職員全体	異常なし A判定	軽度異常 B判定	要観察 C判定	要注意 D判定	要精検 E判定	要治療 F判定	継続加療 G判定	要再検 H判定	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率
脂質代謝	68	41	32	13	20	1	20	0	2	195	86	44.1
糖代謝	117	52	19	0	3	0	5	0	1	196	27	13.8
貧血・血球	149	20	11	7	7	0	3	0	0	197	20	14.2
尿酸	133	2	5	2	1	0	3	0	51	146	11	7.5
胃部X線	44	24	9	0	6	0	0	0	114	83	15	18.1
便潜血	81	6	10	0	8	0	0	0	92	105	18	17.1
腎機能	145	17	3	8	9	0	2	0	13	184	22	12.0

教員	異常なし A判定	軽度異常 B判定	要観察 C判定	要注意 D判定	要精検 E判定	要治療 F判定	継続加療 G判定	要再検 H判定	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率
脂質代謝	27	20	20	6	12	0	13	0	1	98	51	52.0
糖代謝	50	31	14	0	1	0	3	0	0	99	18	18.2
貧血・血球	74	16	4	4	1	0	0	0	0	99	9	9.1
尿酸	68	2	3	1	1	0	1	0	23	76	6	7.9
胃部X線	37	10	4	0	5	0	0	0	43	56	9	16.1
便潜血	36	6	10	0	3	0	0	0	44	55	13	23.6
腎機能	69	9	1	3	3	0	1	0	13	86	8	9.3

職員	異常なし A判定	軽度異常 B判定	要観察 C判定	要注意 D判定	要精検 E判定	要治療 F判定	継続加療 G判定	要再検 H判定	未受診	判定合計 (A~G)	有所見者 (C~G)	有所見率
脂質代謝	41	21	12	7	8	1	7	0	1	97	35	36.1
糖代謝	67	21	5	0	2	0	2	0	1	97	9	9.3
貧血・血球	75	4	7	3	6	0	3	0	0	98	19	19.4
尿酸	65	0	2	1	0	0	2	0	28	70	5	7.1
胃部X線	7	14	5	0	1	0	0	0	71	27	6	22.2
便潜血	45	0	0	0	5	0	0	0	48	50	5	10.0
腎機能	76	8	2	5	6	0	1	0	0	98	14	14.3

4. 検診所見

2018年度教職員健康診断の集計結果

胸部X線所見(2018年度)			
	教員	職員	計
治癒陰影	7	8	15
脊柱側彎症	2	1	3
胸膜癒着	0	0	0
胸膜肥厚	0	0	0
小結節影	0	1	1
裂孔ヘルニア	1	0	1
肋骨骨折痕	0	0	0
大動脈蛇行	0	0	0
奇静脈葉	0	0	0
陳旧性肺病変	0	1	1
大動脈拡大	0	0	0
合計	10	11	21

心電図所見(2018年度)			
	教員	職員	計
心室性期外収縮	3	2	5
完全右脚ブロック	1	3	4
不完全右脚ブロック	2	0	2
右室伝導遅延	1	0	1
高電位(高いR・深いS)	0	2	2
洞性徐脈	1	1	2
低電位(四肢誘導)	0	1	1
T波異常	2	2	4
R波増高不良・減高	2	2	4
異常Q波・疑	0	2	2
QSパターン	1	0	1
ST低下	2	4	6
心室内ブロック	0	1	1
肺性P波	0	1	1
右軸偏位	0	1	1
左軸偏位	0	2	2
1度房室ブロック	0	2	2
合計	15	26	41

診察所見(2018年度)			
	教員	職員	計
リンパ節腫大	1	0	1
甲状腺疾患・疑	1	0	1
呼吸音異常	0	1	1
浮腫	0	0	0
貧血症状	0	3	3
不整脈	0	2	2
合計	2	6	8

胃透視所見(2018年度)			
	教員	職員	計
萎縮性胃炎	1	0	1
胃潰瘍癒着	2	0	2
十二指腸潰瘍癒着	2	0	2
胃ポリープ	7	12	19
胃ポリープ疑	0	3	3
胃粘膜下腫瘍疑	0	0	0
胃下垂	0	2	2
逆流性食道炎	0	0	0
食道裂孔ヘルニア	0	0	0
食道炎	1	0	1
胃体上部ポリープ	0	0	0
食道憩室	0	0	0
大湾レリーフの異常	0	0	0
びらん性胃炎	2	0	2
胃炎	2	0	2
胃潰瘍疑	0	0	0
胃底腺ポリープ	0	0	0
慢性胃炎	3	0	3
十二指腸炎	0	0	0
石灰化陰影	0	0	0
良性びらん	0	0	0
合計	20	17	37

2019年度教職員健康診断の集計結果

胸部X線所見(2019年度)			
	教員	職員	計
治癒陰影	9	6	15
脊柱側彎症	1	0	1
心陰影異常	0	2	2
斑状影	0	1	1
右肩甲骨形成不全疑い	0	1	1
限局性陰影疑い	0	1	1
肺のう胞・プラ	0	1	1
大動脈蛇行	1	2	3
異物	0	1	1
合計	11	15	26

心電図所見(2019年度)			
	教員	職員	計
心室性期外収縮	0	0	0
完全右脚ブロック	1	3	4
不完全右脚ブロック	0	1	1
ST異常	0	1	1
左軸偏位	2	3	5
右軸偏位	1	1	2
反時計回転	0	2	2
高電位	0	1	1
洞性徐脈	1	2	3
低電位(四肢誘導)	0	1	1
1度房室ブロック	0	0	0
上室性期外収縮頻発	1	0	1
T波異常・疑	1	0	1
T波異常	2	0	2
R波増高不良・減高	0	1	1
心室性期外収縮頻発	0	1	1
心室内ブロック	0	1	1
左室高電位	0	1	1
合計	9	19	28

診察所見(2019年度)			
	教員	職員	計
皮膚病変	1	1	2
不整脈	1	0	1
貧血	0	2	2
甲状腺疾患	1	1	2
手術痕	1	0	1
合計	4	4	8

胃透視所見(2019年度)			
	教員	職員	計
萎縮性胃炎	0	0	0
胃潰瘍癒着	1	0	1
胃底腺ポリープ	0	0	0
胃ポリープ	8	11	19
胃潰瘍	1	0	1
胃潰瘍疑	1	1	2
胃下垂	0	1	1
逆流性食道炎	0	0	0
胃炎	13	5	18
慢性胃炎	0	0	0
びらん性胃炎	0	1	1
表層性胃炎	0	0	0
食道裂孔ヘルニア	4	0	4
瀑状胃	1	0	1
腸上皮化生	1	0	1
十二指腸疾患	1	0	1
十二指腸潰瘍癒着	1	0	1
食道炎	4	2	6
術後胃	1	0	1
十二指腸憩室	1	0	1
十二指腸ポリープ	0	1	1
合計	38	22	60

V ストレスチェックについて

2014年の労働安全衛生法の一部改正により、ストレスチェック制度を実施することが2015年12月から義務付けられ、本学では2016年度から実施している

2019年度の報告

【対象】 教職員（付属幼稚園も含む）

【受検期間】 2019年10月1日～10月15日

【実施方法】 （株）セーフティーネット ストレスチェック web 受検型を採用

【周知方法】 教職員ポータルサイトを使用し、複数回案内を配信

年度	対象人数	受検人数	受検率(%)
2019年度	187	167	89
2018年度	190	169	89
2017年度	185	167	90
2016年度	189	181	96

受診率については、90%前後で推移している。引き続き、受検案内に関する周知や勧奨を継続していく。
事業者全体の総合健康リスク値は全ての部署で全国平均値を下回った。

VI. 保健室利用状況

1. 主訴別

	年度 月	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	4月
外科	打撲	4	3	3	3	2	1	3	2	1	1	0	0	3	3	4	1	1	5	0	0	0	0	0	0	21	19	
	捻挫	2	1	3	2	0	4	1	3	0	0	1	0	1	1	3	6	2	0	0	0	0	0	0	0	1	13	18
	突き指	0	0	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1
	骨折・脱臼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	切創	4	3	1	1	4	2	0	4	2	0	2	6	1	1	2	4	2	2	5	9	4	2	2	0	29	34	
	刺傷・虫刺され	1	0	0	3	4	2	1	2	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	10	8
	擦過傷	4	7	4	2	5	7	14	6	0	1	1	0	7	3	4	4	6	1	0	3	0	0	0	0	1	45	35
	靴づれ	2	3	3	3	4	5	5	5	2	0	0	2	2	3	0	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	19	25
	熱傷	4	0	3	3	5	4	2	5	0	0	0	1	4	3	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	21	20
	筋肉関節痛	5	1	8	0	3	4	4	9	0	1	1	0	1	1	5	0	2	0	6	0	2	1	2	0	0	39	17
内科	胃腸症状(腹痛・嘔吐)	0	3	2	3	3	7	4	2	0	1	1	0	3	1	3	2	2	2	4	2	1	1	1	1	1	24	25
	感冒症状(発熱・咽頭痛)	7	8	12	8	3	13	5	10	0	0	0	0	7	19	14	22	12	19	18	23	2	0	0	0	80	122	
	頭痛	1	6	5	10	5	3	4	2	0	1	0	0	1	1	2	3	4	1	2	1	0	0	0	0	24	28	
	気分不良(倦怠感・疲労)	9	20	18	19	13	5	11	16	3	1	0	2	14	8	13	9	8	5	4	13	2	1	2	0	97	99	
	過呼吸	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	3
他科 / その他	月経随伴症状	5	4	2	3	4	0	6	3	0	0	0	1	3	1	5	2	3	2	2	0	0	0	0	0	23	23	
	皮膚・アレルギー症状	1	3	6	0	6	6	4	4	2	2	0	2	4	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	26	18
	耳鼻科症状	2	1	2	2	2	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	5
	眼科症状	1	2	0	2	2	3	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	8	9
	口腔歯科症状	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	主訴その他	1	6	5	1	4	4	9	13	4	2	0	2	4	2	4	4	4	4	1	4	1	3	0	2	37	47	
	健康相談	20	17	20	13	26	13	16	11	11	2	13	2	19	21	20	16	17	12	30	9	7	1	4	4	203	121	
合計	73	88	99	78	97	87	94	100	26	12	20	17	75	71	84	82	66	58	76	68	19	9	12	9	741	679		

利用内容	医療機関 紹介	2	12	3	9	3	8	0	6	0	1	1	0	2	3	2	6	1	6	3	3	0	1	2	0	19	55	
	保健室 休養	14	32	30	34	24	15	24	24	4	2	1	1	18	27	18	26	18	19	15	18	3	2	3	1	172	201	
	保健室 護送	0	5	0	3	0	1	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	13
	医療機関 搬送	1	3	2	0	2	1	2	0	3	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	4	0	18	4

内科診療(校医診察)

	年度 月	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	4月
健康診断		0	2	0	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	1	46	8
一般診療		1	2	1	2	2	4	0	2	0	1	3	0	1	2	1	1	1	4	2	3	0	0	1	2	13	23	
ストレス面接		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3

2. 学年別

年度 学年/月	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019
	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
1年次	20	17	31	15	23	16	28	38	3	0	5	2	25	11	18	16	13	12	13	12	4	1	0	0	183	140		
2年次	17	19	22	18	30	26	34	20	1	0	3	1	20	17	22	17	20	13	33	7	6	1	0	0	208	139		
3年次	9	32	13	26	18	25	13	17	0	0	0	0	5	13	16	29	7	13	8	18	0	1	4	0	93	174		
4年次	8	4	8	12	2	5	12	6	7	0	1	1	9	6	11	5	8	8	9	5	9	1	4	0	88	53		
院生	1	2	1	1	1	3	1	1	1	0	2	0	2	0	4	0	1	1	1	0	1	0	0	0	16	8		
通信教育部	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	4		
科目等履修	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
教職員	18	11	22	7	20	12	5	17	12	5	7	0	9	0	9	13	15	10	15	26	6	5	7	12	145	118		
合計	73	85	97	81	95	87	93	99	25	5	18	4	70	47	81	81	64	58	79	68	26	9	15	12	736	636		

3. 学科別

年度 学年/月	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019
	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
児童教育	30	28	38	40	33	43	39	39	7	0	7	2	30	21	29	44	24	22	35	22	6	2	4	0	282	263		
総合文化	9	8	11	0	10	5	15	10	2	0	1	0	7	6	7	6	4	6	4	9	5	0	4	0	79	50		
心理	4	5	8	8	8	3	8	3	1	0	0	1	12	11	6	7	7	4	2	1	3	0	0	0	59	43		
福祉臨床	2	5	4	6	11	9	8	5	0	0	0	1	7	2	9	3	6	4	7	2	0	0	0	0	54	37		
ジュニアスポーツ教育	9	26	13	17	11	12	17	24	1	0	1	0	3	7	16	7	7	10	15	8	5	2	0	0	98	113		
院生	1	2	1	1	1	3	1	1	1	0	2	0	2	0	4	0	1	1	1	0	1	0	0	0	16	8		
科目等履修	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	4		
通信教育部	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
合計	55	74	75	74	75	75	88	82	13	0	11	4	61	47	72	68	49	48	64	42	20	4	8	0	591	518		

VII. 健康診断証明書

健康診断証明書発行状況

年度	2018		2019		2018		2019		2018		2019		2018		2019		2018		2019		2018		2019		2018		2019	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計															
1年次	0	1	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5	5				
2年次	1	1	1	3	4	5	165	199	10	26	10	3	6	8	3	1	1	2	0	0	0	0	5	0	206	248		
3年次	36	38	37	48	39	33	113	123	34	26	7	5	7	7	3	12	0	1	12	15	12	14	17	28	317	350		
4年次	44	31	48	77	43	34	59	67	38	31	21	17	9	12	5	6	6	6	2	2	6	1	16	6	297	290		
院生	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	7	0			
合計	81	71	86	130	87	74	337	389	82	83	39	25	22	27	11	19	7	9	14	17	19	15	47	34	832	893		

VIII. 学生相談室

室長：伊東真里

カウンセラー：大淵万祐子 小林良子 柴田博美 中田瞳 福井愛加

1. 学生相談室活動報告

(1) 学生相談室の体制

当学生相談室（以下、相談室と略記）は1980年に開室し、以来約40年間活動を行ってきた。開室以来1日4時間・週5日の在室体制であったが、ニーズの高まりを承けて、2012年度より時間外での予約受付を開始し、2014年度からは1日7時間・週5日の在室体制を整えて現在に至っている。そうしたカウンセリング業務が中心であるが、学生からの来談を待つだけでなく、学生には「困ったときに相談できる場所」、その窓口となる場所としての位置づけを定着させるための取り組みとして、新入生のオリエンテーションでの室長とカウンセラーによる相談室の紹介、年に2回のイベント、年に2回の「学生相談室だより」の発行などを行っている。こうした取り組みについては次項で詳述する。

2010年度以降は月1回の学生相談室専門部会を行うことで、他部署と相談室とが連携して学生サポートにあたるようになってきた。

さらに、2013年度より学生相談学会の会員となり、カウンセラーが年次大会や研修会に出席することで、学生相談に関する新しい情報・技法を獲得するように努力している。

(2) 活動内容

学生相談の業務は、学生を対象にした活動と教職員を対象にした活動に大別できる。ここでは、前項で言及した活動内容について昨年度、一昨年度の取り組みを中心にまとめる。

① 学生対象の活動

i : イベント

相談室では2006年度より継続して年3回程度の学生を対象としたイベントを実施してきた。2016年度からは年に2回の実施となった。イベントの内容は、その都度さまざまなものを取り入れてきた。2018年度、2019年度のイベントで扱った内容を表1に示した。広報はポスターの掲示やホームページ、相談室だより等で行った。

TEG イベントは、大学という新しい環境での適応に悩みを抱えはじめる新入生や、就職活動の迫るなかで自分を見つめ直す必要を感じている学生に相談室の活動をより身近に知ってもらい、適切な支援につなげることを目的として実施している。またカウンセラーと学生が打ち解けて話すことにより、学生のもつ潜在的なニーズや相談室への期待を直接聞き取る機会としても活用している。

クリスマスイベントでは、2017年度より留学生にも相談室を周知しようと参加を呼びかけ始めた。年々留学生の参加者数は増加しているが、留学生以外の学生の参加者数は横ばい状態である。

これらのイベントをきっかけに、学生が相談室の存在を知り、困り感を抱いている友人に相談室を紹介したり、相談室のパンフレットを持ち帰ったりする場面もあった。また、イベント参加者が改めて相談に訪れることもあった。

表 1. 2018 年度、2019 年度における学生向けイベントの内容と開催月

	イベント内容	イベント名	開催月
2018年度	TEGイベント	心理テストで自分の性格をのぞいてみよう	6月
	クリスマスイベント	松ぼっくりや羊毛フェルトで小物づくり	12月
2019年度	TEGイベント	心理テストで自分の性格をのぞいてみよう	6月
	クリスマスイベント	松ぼっくりや羊毛フェルトで小物づくり	12月

ii : 学生相談室だより

学生相談室だよりは、学生生活の中で身近で学生が関心を持ちやすいテーマを選び、心身の健康の啓発を目的としている。テーマの選択から内容の構成までをカウンセラーが担当し、年 2 回の長期休暇の前に発行している。発行した際には校内の掲示板やホームページ等に掲載し、閲覧できるようにしている。この学生相談室だよりをきっかけに個別相談に訪れることもあるため、相談室周知の一役も担っているといえる。

② 教職員対象の活動

相談室では、2011 年度より、6 年間教職員向けに年一回の講演会・講習会を行ってきた。これは、気になる学生の態度や応答への気づきや理解などの注意喚起、他部署との更なる連携の強化や教職員への相談室の周知を目的とし、相談室だけでなく大学全体で一人ひとりの学生を支えるための活動でもある。取り組みの結果、教職員への一定の周知が得られたことと、カウンセラーの勤務時間との兼ね合いの課題があり、2017 年度、2018 年度は教職員対象の活動として講演会・講習会の定期開催は見送られることとなった。

2019 年度、教職員対象の研修を行っていない数年間で職員が入れ替わり、相談室を知らない職員が増えてきた。そのため、職員のみを対象に「学生相談室のはたらき」～学生とカウンセラーとの関わり～と題し、前半に相談室の紹介や現状を伝え、後半に『考え方のクセ』をテーマに研修会を実施した。研修会ではワークシートを用い、自身の考え方のクセを数値化し、特徴を捉えるグループワークを行った。夏休み期間中に実施したこと、他の会議と重なっていたこともあり、20 人ほどの参加であったが、おおむね好評であった。

2. 学生相談室の利用状況について

2018 年度、2019 年度の学生相談の利用状況、および精神科校医との面接数について報告する。

(1) 年間利用状況

表 2 に 2018 年度と 2019 年度の月別、学年別の来談者数をまとめた。相談室は通学生を対象としているため、本報告より、統計の項目から「一般」を削除した。また図 1 に月別の合計来談者数の推移を示した。2 年間の来談者の月別の多寡の流れは同じであるが、2019 年度の合計来談者数は 2018 年度と比較して半減した。長期休暇中の利用はほとんどなく、1 年を通して利用は少なかった。2019 年度後半より流行し始めた新型コロナウイルスの影響もあり、2 月以降に予約が入ることはほとんどなかった。しかし、過去にあまりなかった外国人留学生の来談や、本来相談室の対象ではない通信教育部の学生が飛び込みで来談することもあった。2018 年度は教職員とのコンサルテーションを行ったが 2019 年度はなかった。

表 3 に精神科校医との面接状況を示した。精神科校医との面接は、学生から自発的に医師との面接を希望する場合と、必要に応じてカウンセラーから学生に医師との面接を促すことがある。面接件数として多くはないが、セーフティネットの観点からも精神科校医との連携を図ることは、非常に重要な意味を持っていると言える。

表2. 2018年度、2019年度の学年・月別来談者数

年度	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019
学年/月	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1年次	7	1	9	1	6	1	9	0	1	0	3	0
2年次	2	9	2	7	6	6	7	8	0	0	0	0
3年次	3	4	3	5	7	1	0	1	0	0	0	0
4年次	6	1	3	2	7	1	7	2	2	1	3	0
大学院	2	0	3	0	1	0	4	0	4	0	0	0
通信	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計	22	17	21	15	27	9	27	11	7	1	7	0

2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019
10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
7	1	7	0	8	3	12	4	1	1	2	0	72	12
3	9	2	12	5	2	3	3	1	0	0	0	31	56
2	0	2	4	1	2	2	2	0	1	0	0	20	20
2	0	7	0	3	0	6	0	5	1	3	0	54	8
3	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	19	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
17	10	19	16	17	7	24	9	7	3	5	0	200	98

表3. 2018年度、2019年度の学年・月別精神科校医との面接数

年度	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019
学年/月	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1年次	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
2年次	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
3年次	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
4年次	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
大学院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	2	1	1	1	1	1	0	1	0

2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019	2018	2019
10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	5

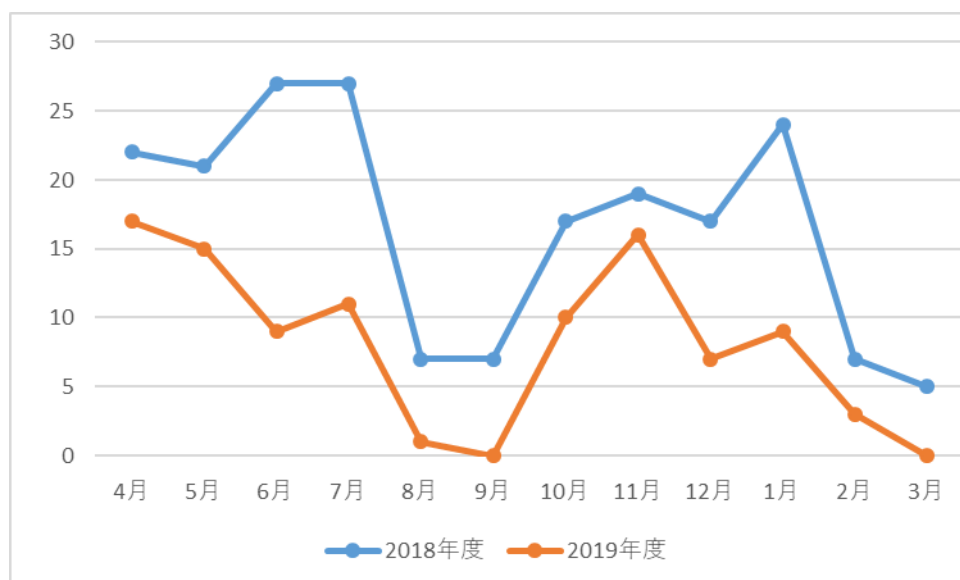


図1. 2018年度、2019年度の月別合計来談者数の推移

(2) 相談主訴の分類および分類別割合

初回来談時の主訴を7つに分類し、表4に示し、2018年度、2019年度の来談時の主訴の割合を図2に示した。2018年度、2019年度ともに、Bの心身の健康状態を主訴に挙げる学生が多かった。Aの自身の性格、Cの人間関係を挙げる学生も多く、また、複数の主訴が重なり合っている学生や、カウンセラーによって主訴を変える学生もいた。

表4. 初回来談時の主訴の分類とその内容

A	自身の性格	心理的な問題(心的不適応、アイデンティティ)性格に関する相談
B	心身の健康状態	心理的あるいは身体面での健康上の問題に関する相談
C	人間関係	家族関係、友人関係、異性関係の相談
D	履修、学業	休学、退学、転学などの相談。学業上の相談
E	進路	進学や就職、その他の進路に関する相談
F	学生生活	クラブ活動、アルバイト、その他学生生活全般に関する相談
G	その他	上記に含まれないもの

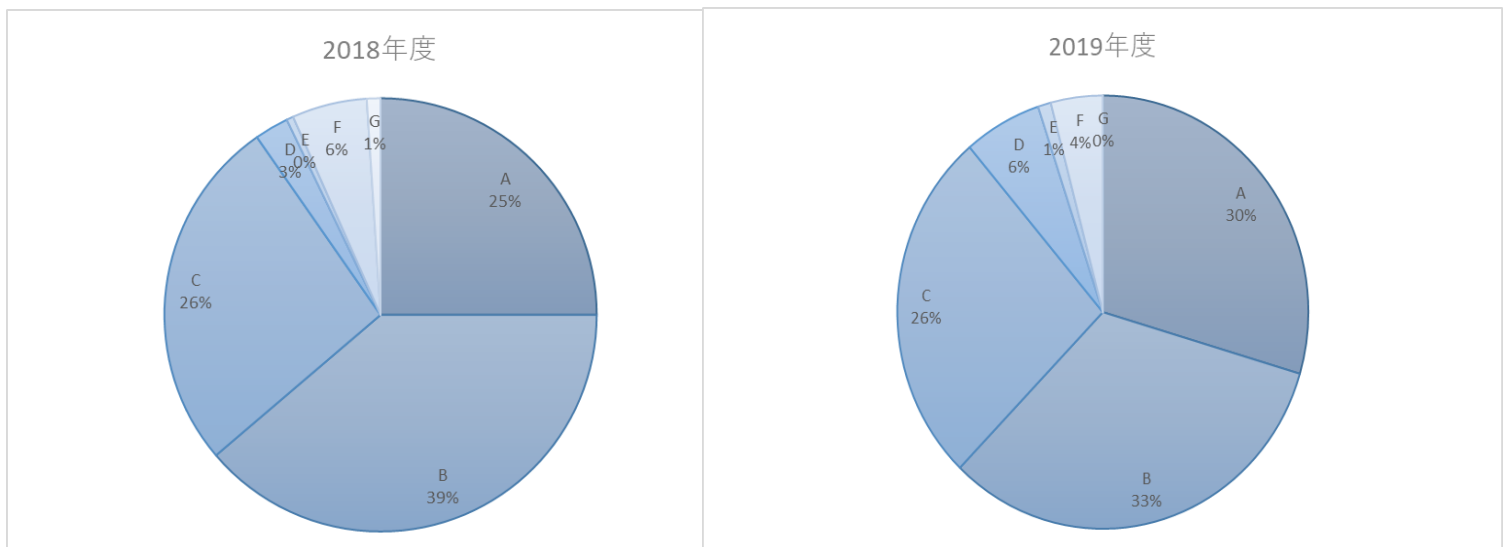


図2. 2018年度、2019年度の初回来談時の主訴別割合

(3) 来談回数ごとの学生数

表5に一人の来談者が継続して何度来談したかをまとめた。またこれを図示したものが図3である。2018年度、2019年度共に1回の来室が最も多かった。2018年度は20回を越える来談者もいたが、2019年度はいなかった。2018年度、2019年度と継続して来談する学生も多く、複数のカウンセラーの元を訪れる学生も複数名いた。また、予約をせずに飛び込みで来談し、1度で終わる学生も多くいた。

表5. 2018年度、2019年度における来談回数ごとの学生数

回数	2018年度	2019年度
1	32	15
2~5	16	11
6~10	7	5
11~20	1	1
21~30	2	0
31~40	0	0

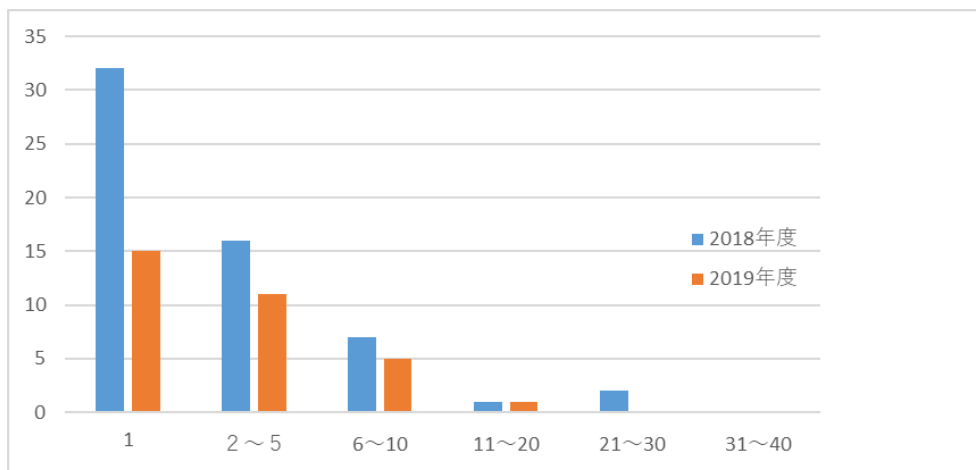


図3. 2018年度、2019年度における来談回数ごとの学生数

(4) 学科別来談者数と学科在籍者数に対する来談率

2018年度、2019年度の学科ごとの来談者数と学科在籍者数に対する来談率（以下来談率）を表6にまとめた。学部生の来談率に関して、2018年度は心理学科が最も高く、次にジュニアスポーツ教育学科、福祉臨床学科、総合文化学科、児童教育学科と続いた。2019年度は福祉臨床学科が最も高く、次に心理学科、総合文化学科、児童教育学科と続いた。2019年度より、福祉臨床学科の募集が停止されたことによる学科在籍者数の減少により、ほとんどの学科が減少傾向にあるが、福祉臨床学科の来談率が増加した。その反面、ジュニアスポーツ教育学科の利用者は0人であった。また、大学院については在籍者数が少ないことから、1名の増減で大きな来談率の変化となる。それを考慮に入れても、来談者がほとんどおらず2018年度は1人、2019年度は0人であった。

表6. 2018年度、2019年度の学科別来談者数と学科在籍者数に対する来談率

学部・院	学科	来談人数		来談率	
		2018	2019	2018	2019
文学部	総合文化学科	3	3	1.5%	1.4%
発達教育学部	児童教育学科	12	9	1.2%	1.0%
	心理学科	11	8	5.7%	4.3%
	福祉臨床学科	2	4	1.8%	5.1%
	ジュニアスポーツ教育学科	9	0	3.0%	0.0%
大学院	教育学専攻	0	0	0%	0%
	心理臨床学専攻	1	0	3.0%	0.0%

(5) 利用状況のまとめ

- ① 2018年度と比べ、2019年度の年間利用者数は減少した。しかし、通常授業のある期間では(8・9・2・3を除く月)、一定数以上の利用があり、相談室の需要は大きく変化していないと考えられる。
- ② 相談内容の主訴は、「心身の健康状態」と不調の訴えとともに「人間関係」や「自身の性格」など困り感の要因の改善を求めることが多く、複数の主訴が重なっていることもみられた。
- ③ 来談回数においては、1回のみや2～5回の来室が多く、10回以上来室する学生は少なかった。

3. 考察および今後の課題

相談室はその目的を、「学生が直面する学生生活上の個人的問題について相談に応じ、助言する。」と明記している。本年の活動報告及び学生相談室の利用状況のまとめを見ていくと、来談者数の減少が特徴として見られる。この状況が学生の抱えている個人的問題の減少であると確認できているとすれば喜ばしいことであるが、何らかの問題や悩みを抱えながらも相談室の利用に結びつかない学生がいたのであれば、今後の課題として考察していくことが有用であると考えられる。また、近年、予約なしで来談する学生が増えていることから、初回来談時の主訴をもとに考察していく。

(1) 来談者数の減少について

まず、2019年度の相談室の来談者数は前年度比、約半数であった。これを詳しく表2. 2018年度、2019年度の学年・月別来談者数から見ていくと、2018年度の1年生は、2019年度に2年生となり、その学年の来談者は、各年度とも春学期(4月5月7月、2019年のみ6月)と秋学期(10月11月12月)において4学年の内一番多い来談者数となっている。また、2018年度は4年生の来談者数も多く、その間の学年は多いとは言えない。これらから、2018年度、2019年度とも相談室を利用している来談者は学年により、特徴があるように思われる。また、来談者数の多かった2018年度の4年生が卒業後、2019年度の1年生の来談者の数は少なかったことも、全体として、2019年度の来談者数が減少している一因と考えられる。さらに、先述のように福祉臨床学科の募集の停止による学科在籍者数の減少も利用者の減少に繋がっている可能性も考えられる。

「潜在的な相談ニーズを持つ学生の利用促進に向けて」という副題のもと学生相談学会で発表された質問紙調査研究(2020)によると「友人や知り合いも利用していることを知った」が利用促進要因の1位にあげられている。これらから、本校の実態である学年別での来談者数の多寡は、友人や知り合いという身近な人の来談が来談動機となったため、と考えられる。

(2) 予約なしで来談する学生について

相談室は、時間枠を設定し予約制をとって面接を行っている。しかし近年、事前に予約するのではなく、予約なしで来談する学生が多くなっている。これは、前項目にあげた質問紙調査研究(2020)の利用促進要因の2位が「その日のうちに相談ができる」とあるように、個人的問題について相談したいと思っている学生が即時性を求めており、思ったときに即相談したいという気持ちの表れであると考えられる。

また、本報告書の図2.初回来談時の主訴別割合と、一人が継続して何度来談したかという表5.来談回数ごとの学生数を見ていくと、各年度とも合わせると主訴の約6割を占める2項目「心身の健康状態」の不調や「人間関係」は流動的で日々変化するものである。そのため、学生は困ったときに即、助けてもらえる場として相談室を利用し、改善すると継続して来談はしないため、相談回数が1回だけの相談が一番多くなっているのではないかと考えられる。

一方で2.5～3割を占める「自身の性格」についての主訴は、他の主訴に重なる形で訴えられることが多く、青年期の根源的な課題であるアイデンティティの問題として意識化される時には、継続来談しているようにも思われる。

(3) 今後の課題

以上の実態をふまえて、今後の課題および取り組みとしては、身近な友人や知り合いも利用していることを知ることが、何らかの問題や悩みを抱えている学生にとって、相談室の利用に繋がると考えられる。従って、相談室の周知が大切な課題となる。現在、相談室の広報活動としては、相談室の概要が記載されているパンフレットを用いて新入生にガイダンスで周知している。また、相談室で悩みを抱えた学生を待つだけでなく、長期休暇前には学生相談室だよりを学生へ向けたメッセージとして発信している。そして、カウンセラーと交流し、相談室を知ってもらうことを目的に、心理テストを用いたイベントや季節に応じたイベントなども開催している。このような現在の活動も含めて、相談室の周知について今一度再考していく必要があるのではないかと考える。

2020年2月以降は新型コロナウイルスの影響で、通学等に抵抗があり、来談意欲があっても躊躇した学生がいた可能性がある。このような事態では、対面ではなく電話やオンライン設備を用いた遠隔カウンセリングの普及が課題である。しかし、学生にとっては電話やオンライン設備を使った在宅でのカウンセリングを受けた経験が少なく、抵抗感を抱く可能性も考えられる。

現在、相談室の5名のカウンセラー全員が非常勤であるため、学生との面談や相談室の運営そして相互理解の連携には相談室内でのフォローアップ体制、事例検討、情報共有などがより必要であると考えられる。また、学生の抱える困難は社会的側面などが大きく心理面に影響を与えており、カウンセラー以外の学校教職員との連携と協働がより求められていると考える。

4. おわりに

学生相談は、対面でカウンセラーが共に相談者の問題を考える中で、学生が本来自分で持っている力に気づき、自分の歩みを選択し進んでいくことを援助している。そのために2年間の振り返りは、相談室の現状をお知らせするとともに、現在の実態を知ることを通して、改善点を見つけ、これからの日々の相談につなげていくことができる視点を与えてくれるものになっている。

また、2019年から流行し始めた新型コロナウイルスの影響下では、学生も日々柔軟な対応が迫られるような毎日を送っていると思われる。このような環境の中、多様化している悩みを持つ学生に対して幅広い支援ができるよう、相談室としてより学生に寄り添った支援の充実を図っていきたい。

—引用文献 齋藤暢一郎・藤岡大輔・玉井智佳・小西優佳・川島るい・斉藤美香 2020 学生相談機関をいかに効果的に周知するか—潜在的な相談ニーズを持つ学生の利用促進に向けて— 日本学生相談学会大会発表論文集, 38, 37

保健管理報告 第19号

発行日 2020年11月

発行所 神戸親和女子大学

学生サービスセンター事務局

学生担当 保健室

〒651-0011

兵庫県神戸市北区鈴蘭台北町7丁目13-1

TEL 078-591-3790